

## 【全体概要】

富山県では主穀作経営の複合化品目として花き栽培を推進している。しかし、生産者の高齢化や労働力不足、手作業中心で労働強度の高い作業が課題となっており、機械化等による省力生産技術の確立が求められている。また、小ギクは、物日(お盆)需要が多く、契約的取引による有利販売を進めているが、その安定供給に向けた開花調節技術の確立や病虫害対策等の防除技術を組み合わせた総合的な省力化栽培体系の確立が課題となっている。このため、省力・低コスト機械化体系を開発するとともに、電照栽培による開花調節技術、微小害虫の省力防除体系を確立し経営体や産地への導入を目指す。

## 新品種・新技術等の概要

### 移植機、耕種的防除、電照栽培による開花調節等省力栽培体系の確立

- ①露地ギクの省力・低コスト機械化体系の開発
- ②露地ギクの電照栽培による開花調節技術
- ③微小害虫の発生活長と生活環に対応した防除と耕種的防除を組み入れた省力防除体系の確立



半自動移植機

## 主な取組内容

### 【検討会】

- ・実証ほの設計・現地・成績検討会の開催
- ・実需者との意見交換会の開催

### 【技術の現地検証】

- ・省力機械化実証の確認  
(施肥・うね立て機、半自動移植機、支柱打ち機、下葉落とし機、防除機等)
- ・電照栽培による開花調節効果の確認
- ・微小害虫の発生活長と省力防除体系の確認



電照栽培

### 【品種・技術と産地・実需者とのマッチング活動】

- ・実証ほ現地検討会・成績検討会の開催による省力栽培体系の検討・課題整理
- ・契約的取引の実施、需要動向等の情報収集

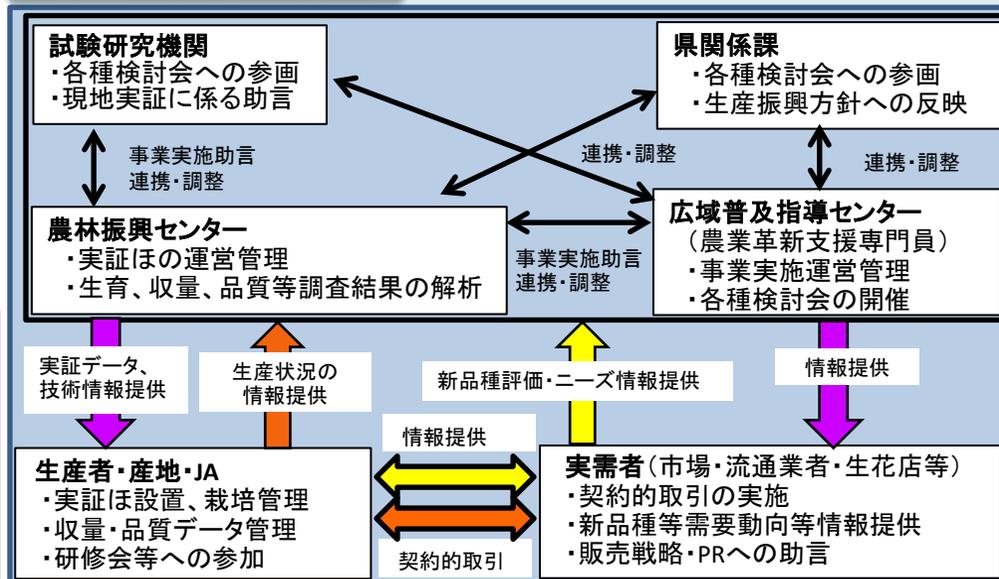
### 【小ギクの省力栽培普及マニュアルの作成】

- ・新技術の先進地調査、省力技術の現地実証結果の取りまとめと、産地への情報提供
- ・生産性の向上、経営改善効果の分析



ブームスプレーヤによる省力防除

## 実施体制図



## 実績と今後の展開

- 省力栽培普及マニュアルの作成(250部)  
マニュアルを活用した省力栽培の普及・拡大の推進
- 移植機では、10a当たり慣行29時間→13時間(約43%)に縮減された。  
省力機械化体系では、10a当たり慣行760時間→474時間(約62%)に縮減された。  
今後、収穫調製作業の省力機械化を検討し、更なる作業時間の縮減を図る。
- 電照栽培では整枝により収穫期間が短く、製品率が高くなった。
- 浸透移行性・浸達性薬剤散布体系により微小害虫数が減少した。効率的な病虫害防除技術として周知徹底、省力的なブームスプレーヤでの活用を推進する。